

水産物に係る調達ガイドライン

当社および当社の水産関連子会社（以下併せて「当社グループ」）は、鮭・鱒・鯖・鰹をはじめとする様々な水産物の養殖・買付・加工・卸売事業をグローバルに展開しており、持続可能な方法で生産・漁獲された原料の取扱いを通じて、「生態系への負の影響」・「IUU（違法・無報告・無規制）漁業」・「人権および労働者の権利の侵害」といった課題の解決に貢献し、社会的責任を果たすことが重要と考えています。

本ガイドラインは、当社の水産物調達に関する基本的な考え方と行動指針を示すものであり、当社は、長期的視野に立ったビジネスの継続性と次世代への水産物の安定供給という両側面から、以下に掲げる取組みを推進して参ります。また、当社は、当社グループ各社と本ガイドラインを共有するとともに、当社グループ各社の水産事業においても、本ガイドラインに沿った取組みを求めて参ります。

■ 当社グループの基本方針

1. 海洋生態系の保全

水産物は人々の食生活を支える重要な自然資源です。世界的な人口の増加や新興国の経済発展に伴い、水産物の需要は今後も高まると予想される中、この貴重な資源を持続的に利用するためには海洋生態系の保全が欠かせません。当社は、過剰漁獲を排除すること、および事業活動が海洋生態系に与える水質汚染や生息域の損失等の負の影響を最小限に抑えることを目指し、持続可能な漁業・養殖業の推進に寄与して参ります。

2. 人権および労働者の権利の尊重

当社は、人権の尊重はすべての事業活動を支える基盤であると考え、「人権方針¹」を定めています。当社グループの水産事業においても、当社の「人権方針」に沿って、人権および労働者の権利の尊重に取り組んで参ります。

3. IUU 漁業の排除

IUU 漁業は、水産物の資源管理を脅かし、人権侵害のリスクを高める国際的な重要課題であると認識しています。当社は、自身が国際条約および関連法令を遵守することはもとより、サプライチェーン上の IUU 漁業および IUU 由来製品を排除する為の取組みを推進して参ります。

4. ステークホルダーとの対話

当社は、上記の取組みを推進していくにあたって多様なステークホルダーとの対話に努め、取組みの改善に繋げて参ります。

■ 当社グループにおける具体的な取組み

1. 持続可能な水産物の取扱い

当社は、持続可能な水産物の指標として世界水産物持続可能性イニシアチブである GSSI（Global Sustainable Seafood Initiative）に承認された認証プログラムを採用し、認証水産物の取扱い拡大を目指して参ります。また、その前段階となる漁業改善プロジェクトである

¹ 人権方針 <https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/sustainability/social/humanrights/001.html>

FIP (Fishery Improvement Program) へのサプライヤーの取組みにも、積極的に協力して参ります。

2. トレーサビリティの確保

当社は、国際的な過剰漁獲や IUU 漁業の排除、生息域の保全、人権および労働者の権利の尊重を実現していくため、水産物の取引における国際的な基準である GDST (Global Dialogue on Seafood Traceability) 規格に沿った透明性あるトレーサビリティの確保を目指します。

3. 「持続可能なサプライチェーン調査」によるリスク管理

当社は、当社グループのサプライチェーン上の人権・環境デューデリジェンスの一環として、サプライヤーに対して人権・環境面のリスクへの対応状況を確認する「持続可能なサプライチェーン調査²」を毎年度実施しております。調査の結果、懸念点が確認された場合には、より詳細なリスクアセスメントを実施し、サプライヤーに是正を求めるとともに、必要に応じてサプライヤーへの指導・支援を行います。継続的な指導・支援を行っても是正が困難と判断された場合には、当該サプライヤーとの取引を見直します。今後も同調査を継続して実施し、サプライチェーン全体の持続可能性の向上に貢献して参ります。

4. グリーバンスメカニズム

当社は、当社グループの事業活動が人権・環境に負の影響を与える、または負の影響を与えることが懸念される事案について社外のステークホルダーから相談を受け付けるための窓口（グリーバンスメカニズム³）を設置し、透明性の高いサプライチェーンの構築と人権・環境リスクの防止・低減・救済に努め、持続可能で公正な事業運営を推進して参ります。

■ 参考：グループ会社における取組み

- Cermaq <https://www.cermaq.com/about-us/policies>
- 東洋冷蔵 <https://www.toyoreizo.com/sustainability/sustainable.html>

以上

制定：2025 年 7 月 4 日

² 持続可能なサプライチェーン調査

<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/sustainability/social/supplychainmanagement/002.html>

³ グリーバンスメカニズム

<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/sustainability/social/humanrights/004.html>